※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　農業科

教科	農業科	科目	家庭園芸	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は実習と座学で展開します。
・実習では、主体的に取り組むとともに周囲との協働を意識してください。
・座学では、授業内容に応じた課題提出があります。
・毎回の授業において、記録レポートを提出してもらいます。

２　学習の到達目標

（１）農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、植物栽培に関する技術を身につけるようにする。
（２）農業に関する課題を発見し、現代に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に考える力を養う。
（３）植物栽培を通じて豊かな人間性を育み、農業の楽しさを実感するとともに、実社会でふれる農業関連自称に対して主体的かつ協働的に取り組む（考える）態度を養なう。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ア．各種野菜について、その栽培方法と概要を理解している。 イ．作物の特性や育成と環境要素や農業関連事象について基礎的な内容を理解しているとともに、関連する技術を身につけている。	作物の特性や育成と環境要素に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に思考および解決している。	ア．作物栽培や農業関連事象の理解に必要な情報収集や分析について、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 イ．作物の特性や育成と環境要素や農業関連事象について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="4">前期</td><td rowspan="4">果菜類の栽培</td><td>【トマト、ナス、ピーマ】
・畑の耕起
・元肥施肥
・畝たて
・苗の植え付け
・水やり</td><td rowspan="4">a:果菜類の生理に関心を持ち、意欲的かつ正確に実習することができている。また、実習した内容をレポート等で具体的かつ論理的記し、考察することができている。
b:論理と実際を見極めて主体的に行動（実習およびグループワーク）・思考（レポートや課題）することができている。また、実際の栽培に関する問題点や課題を発見し、解決することができている。
c:農業を取り巻く環境や課題を考えて、自分の考えやアイデアを発信することができている。また、自然の摂理に基づいた見地を各種実習（グループワーク）や思考（レポートや課題）として表現することができている。</td><td>・実習
・実技試験</td><td>・実習
・レポート</td><td>・実習・レポート</td></tr>
<tr><td>【スイートコーン、キュウリ】
・畝たて
・播種
・マルチング
・支柱たて
・ネット張り</td></tr>
<tr><td>【栽培管理】
・肥料計算
・追肥の判断
・脇芽の処理
・仕立て方</td><td>・確認テスト</td><td>・レポート</td><td>・レポート</td></tr>
<tr><td>【収穫】
・収穫適期の判断
・収穫方法
・発芽特性
・発芽条件
・播種、植え付け方法
・土づくり</td><td>・実習
・レポート</td><td>・実習
・レポート</td><td>・実習
・レポート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">後期</td><td rowspan="2">葉菜類・根菜類の栽培</td><td>【ダイコン、ハクサイ】
・土づくり
・耕起と畝たて
・播種方法
・発芽条件
・土寄せ
・間引きと追肥</td><td rowspan="2">a:根菜類・葉菜類の生理に関心を持ち、意欲的かつ正確に実習することができている。また、実習した内容をレポート等で具体的かつ論理的記し、考察することができている。
b:論理と実際を見極めて主体的に行動（実習およびグループワーク）・思考（レポートや課題）することができている。また、実際の栽培に関する問題点や課題を発見し、解決することができてい</td><td rowspan="2">・実習
・実技試験</td><td rowspan="2">・実習
・レポート</td><td rowspan="2">・実習
・レポート</td></tr>
<tr><td>【ブロッコリー、キャベツ】
・耕起と畝たて
・植え付け方法
・トンネル施工
・追肥</td></tr>
</table>

※令和４年度以降入学生用

		【ミズナ、チンゲンサイ】 ・畝たて ・播種 ・マルチング ・トンネル施工	る。 c：農業を取り巻く環境や課題を考えて、自分の考えやアイデアを発信することができている。また、自然の摂理に基づいた見地を各種実習（グループワーク）や思考（レポートや課題）として表現することができている。			
		【収穫】 ・収穫適期の判断 ・収穫方法		・実習 ・レポート	・実習 ・レポート	・実習 ・レポート
		【栽培基礎】 ・輪作 ・肥料計算 ・連作障害 ・防虫、防鳥、防獣処理 ・有機栽培 ・農薬の取り扱い ・環境保護 ・農業経営		・確認テスト	・レポート	・レポート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度